

お知らせ

平成23年10月12日

<同時資料提供先>

倉吉記者クラブ

米子市政記者クラブ

国道9号橋梁の損傷状況を現地で確認します ～湯梨浜町内の宇野橋（うのばし）の現地確認実施について～

国土交通省倉吉河川国道事務所管内では、損傷の著しい橋梁について、損傷状況を現地で確認し、その対応方針について今後検討します。

道路建設後から相当年数が経過し、老朽化が進んでいる橋梁もある中、既存の橋梁の寿命を延ばし、より長持ちさせるために著しい損傷の早期発見・早期補修の予防保全対策を行うことが重要になっています。

このようなことから、更なる職員の技術力向上を図るためにも橋梁の合同現地確認を行うと共に、橋梁の現状と対策の必要性等を広く一般の方にもご理解していただくために、現地確認の実施のお知らせをします。

【実施内容】

- 実施日時：平成23年10月13日（木）9：45～10：30
※雨天中止（小雨決行）
- 集合場所：当日 9：00 迄に 羽合国道維持出張所集合
（東伯郡湯梨浜町田後299-1）
※詳細な現地点検時間等は担当まで問い合わせください。
- 実施概要：損傷状況の目視点検、損傷要因と概略判定、今後の対応方針等について、参加者で合同確認を実施する
（詳細は別紙のとおり）
- 実施場所：鳥取県東伯郡湯梨浜町宇野地内 宇野橋
- 参加者：約15名
中国地方整備局道路部、中国技術事務所、倉吉河川国道事務所、湯梨浜町、診断・点検業者

問い合わせ先

【倉吉河川国道事務所】

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL 0858-26-6221（代表）

（技）副所長 神宮 祥司（内線205）

（担当） 道路管理課長 松元 洋之（内線431）

宇野橋の現地合同確認の実施概要

1. 主旨

橋梁の多くは高度成長期（1955～1973）に建設され、今後橋梁の老朽化が一斉に進むことから、多額の修繕・架替え等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。

こうしたことから、厳しい財政状況の下で安全安心を確保するため、既存の橋梁の寿命を延ばし、より長持ちさせるために著しい損傷の早期発見・早期補修の予防保全対策を行うことが重要になっています。

倉吉河川国道事務所では、平成23年10月1日現在、橋長2m以上の橋梁の231橋を管理しており、212橋（内15橋点検中）の橋梁点検を完了しています。

この点検・診断済みの橋梁 212橋のうち、23橋（約11%）が速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判断され、早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところです。

今回、損傷の著しい橋梁について、更なる職員の技術力向上を図る為にも合同で現地確認を行うと共に、橋梁の現状と対策の必要性等を、広く一般の方にもご理解していただくことも重要であることから、現地確認を実施することをお知らせするものです。

2. 実施日時：平成23年10月13日(木) 9：45－10：30

3. 実施場所：鳥取県湯梨浜町宇野地先 宇野橋（国道9号）
 ※当日 9：00迄に 羽合国道維持出張所集合
 （東伯郡湯梨浜町田後299-1）

■位置図



■拡大図



※ 駐車スペースが狭いので駐車の際はご注意ください。

4. 合同点検確認者 合計 20名

中国地方整備局	道路部	道路保全官	1名
中国技術事務所		保全技術係長外	2名
倉吉河川国道事務所		道路管理課長外	1名
湯梨浜町			1名
診断業務	海洋架橋・橋梁調査会		1名
点検業務	建設技術研究所		4名

5. 実施内容

橋梁全体の目視、損傷状況等の確認、橋梁点検調書との整合、損傷状況の目視確認、診断業者の所見（追加調査の必要性、損傷要因と概略判定）、今後の対応方針等について、参加者で意見交換、確認を実施する。

その外の橋梁4橋について実施する（確認内容は橋梁毎に異なる）

6. 現地確認橋梁の概要（今回対象橋梁）

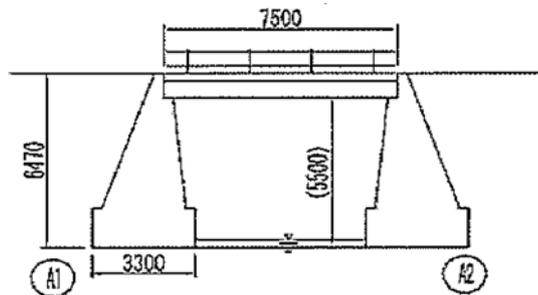
橋名：宇野橋（うのばし）

場所：国道9号 243k 283付近

架設年次：1959年（S34年）

橋梁点検判定区分：B判定（主な損傷：鉄筋腐食による床版のひび割れ）

【橋梁一般図】



【全景】



【損傷状況】

